資料－３

気象状況について

秋田地方気象台

渇水情報連絡会

令和8年6月 秋田地方気象台

1．2025 年度（令和 7 年度）の天気概況

【 春：3～5月の特徴 】

3月 ・特になし

月平均気温は高く、沿岸や内陸南部ではかなり高い所もあった。月降水量は多いから平年並だが、南部では少ない所もあった。月間日照時間は概ね平年並から少ない。

4月 ・「寡照」、「中旬の多雨」

低気圧や前線、気圧の谷の影響により、曇りや雨の日が多く、八森、男鹿真山、田沢湖高原、雄和では 4 月として月降水量の多い方から 1 位の記録を更新した。また、秋田では、4 月として月間日照時間が少ない方から 1 位の記録を更新した。

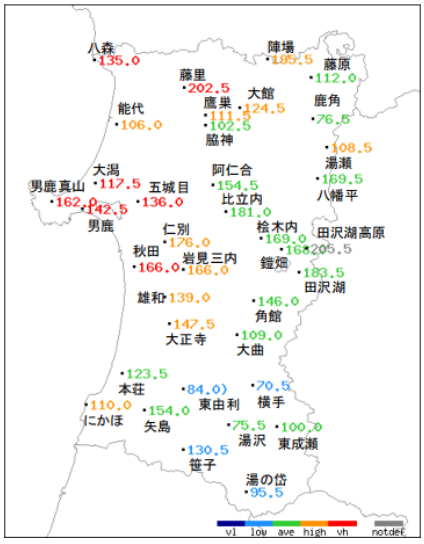
月平均気温は高く、かなり高い所もあった。月降水量は多いまたは平年並で、沿岸を中心にかなり多い所もあった。月間日照時間は少なく、全地点でかなり少なかった。

5月 ・「寡照」、「下旬の多雨」

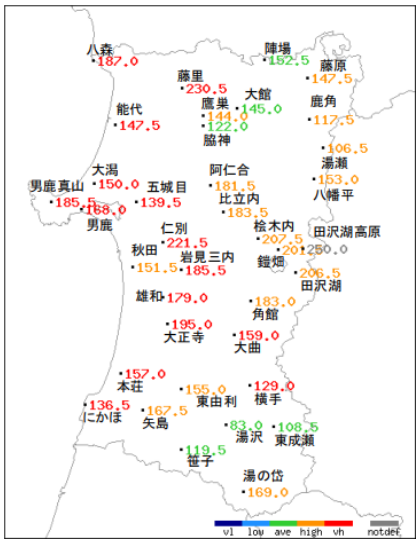
低気圧や前線、気圧の谷の影響により、曇りや雨の日が多かった。

月平均気温は概ね平年並または低い。月降水量は多いまたは平年並で、かなり多い所もあった。月間日照時間は少ないまたは平年並で、かなり少ない所もあった。

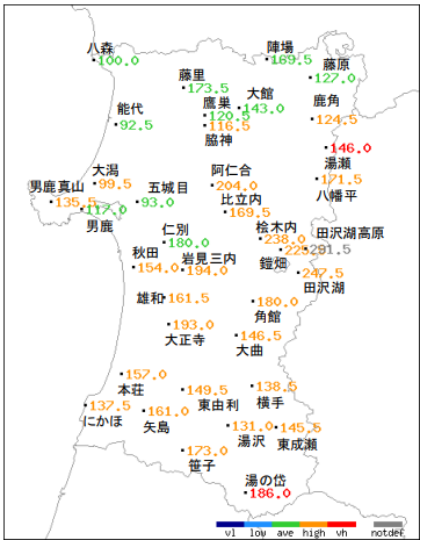
月別のアメダス降水量分布図（単位：㎜）



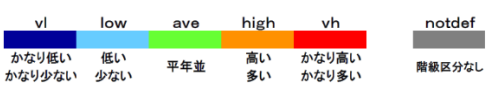
2025 年 3 月



2025 年 4 月



2025 年 5 月



値	正常値
---	現象なし
(値)	準正常値
[値]	資料不足値
X	資料なし
//	平年値なし

【 夏:6～8月の特徴 】

6月 ・「顕著な高温」

天気は周期的に変化した。22 日、26 日、27 日は低気圧や前線、気圧の谷の影響により大雨の所もあった。期間を通して暖かい空気に覆われやすく、22 地点で6月の月平均気温の高い方から1位を更新した。

月平均気温は高く、全地点でかなり高かった。月降水量は概ね少ないまたは平年並。月間日照時間は平年並または少ないが、南部では多い所もあった。

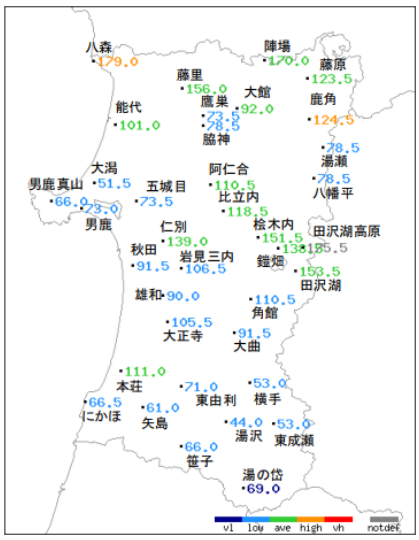
7月 ・「顕著な高温」、「少雨」、「多照」

高気圧に覆われて晴れの日が多かった。月平均気温の高い方から 7 月としての 1 位の値を全地点で更新したほか、日最高気温の高い方から 7 月としての 1 位の値を 11 地点で更新し、そのうち通年の 1 位の値を 3 地点で更新した。また、月降水量の少ない方から 7 月としての 1 位の値を 26 地点で更新し、そのうち通年の 1 位の値を 10 地点で更新した。月平均気温は高く、全地点でかなり高い。月降水量は少なく、全地点でかなり少ない。月間日照時間は多い。

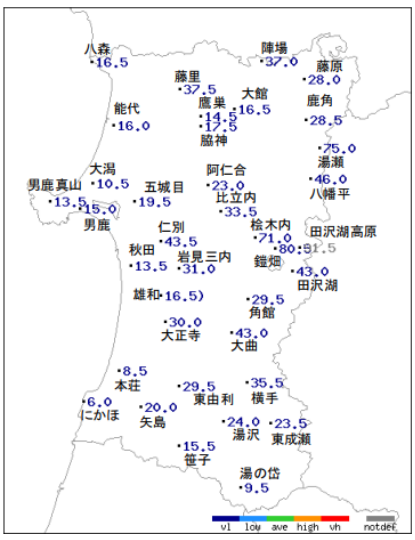
8月 ・「多雨」、「20 日の記録的な大雨」

天気は周期的に変化したが、激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨の所もあった。特に、8 日は気圧の谷の影響により本荘で 1 時間に 117.5 ミリの猛烈な雨を観測し、20 日は前線の影響により大館、比立内で日降水量が 8 月としての 1 位の値を更新するなど、記録的な大雨となった。また、4 地点で月降水量の多い値が 8 月としての 1 位の値を更新した。

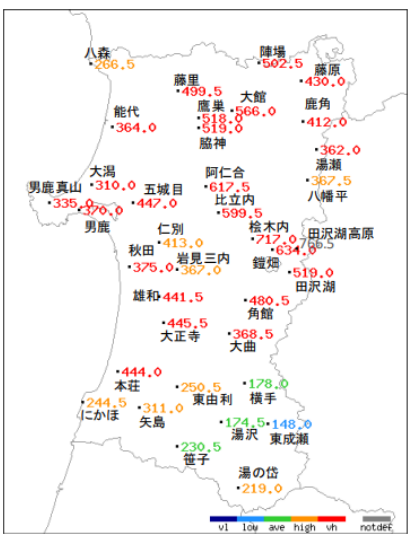
月別のアメダス降水量分布図（単位：㎜）



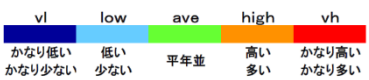
2025 年 6 月



2025 年 7 月



2025 年 8 月





値	正常値
---	現象なし
値)	準正常値
値]	資料不足値
X	資料なし
//	平年値なし

【 秋:9～11 月の特徴 】

9月 ・「多雨」、「2 日の記録的な大雨」

天気は周期的に変化したが、低気圧や前線の影響により、激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨の所もあった。特に、2 日は 4 地点で日降水量が観測史上 1 位の値を更新するなど、記録的な大雨となった。また、6 地点で月降水量の多い値が 9 月としての 1 位の値を更新し、そのうち能代で観測史上 1 位の値を更新した。

月平均気温は高い。月降水量は概ね多い。月間日照時間は多い。

10 月 ・「上旬の高温」、「下旬の低温」

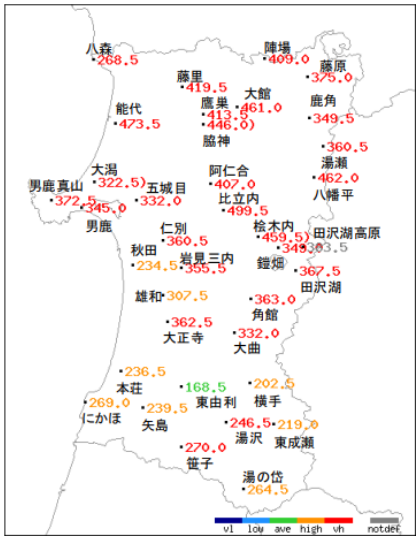
天気は周期的に変化した。上旬は旬平均気温が全 26 地点でかなり高く、4 日は能代、鷹巣、脇神で日最高気温の高い方から 10 月としての 1 位の値を更新した。また、下旬は旬平均気温が 22 地点でかなり低く、30 日は男鹿で日最低気温の低い方から 10 月としての 1 位の値を更新した。

11 月 ・「上旬の多雨」、「下旬の高温」

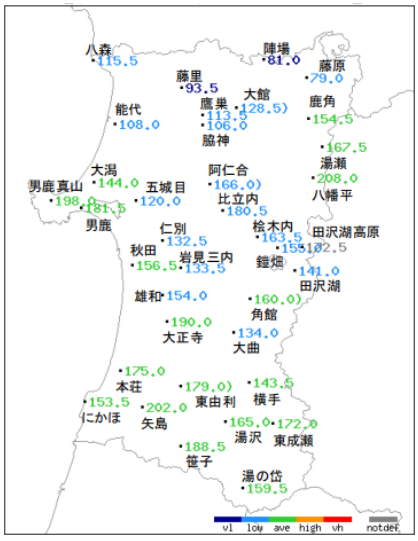
天気は周期的に変化した。中旬は冬型の気圧配置により雪の日があった。また、上旬と下旬は低気圧や前線の影響により大雨の所があり、特に 1 日は 10 地点で日降水量が 11 月として 1 位の値を更新した。

月平均気温は平年並または高い。月降水量は多いまたは平年並で、北部を中心にかなり多い所があった。月間日照時間は概ね平年並または多い。

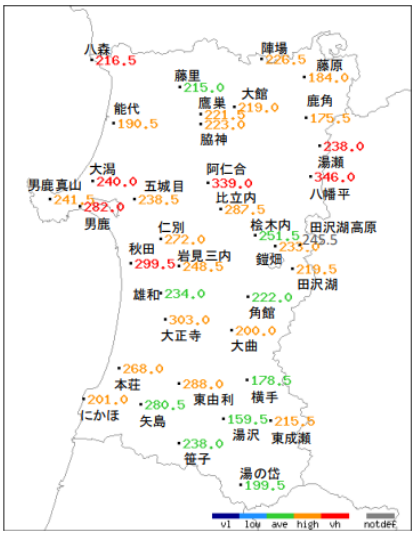
月別のアメダス降水量分布図（単位：㎜）



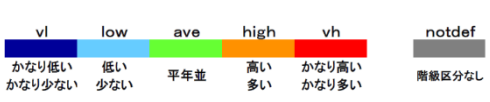
2025 年 9 月



2025 年 10 月



2025 年 11 月



値	正常値
—	現象なし
値)	準正常値
値]	資料不足値
X	資料なし
//	平年値なし

【 冬:12～2月の特徴 】

12 月 ・「多降水」、「高温」

冬型の気圧配置や前線等により雪や雨の日が多かった。大雪や大雨の日もあり、18 地点で月降水量の多い方から 12 月として 1 位の値を更新した。また、月平均気温が 10 地点でかなり高く、特に 1 日と 21 日は前線に向かって流れ込む暖かい空気の影響により計 6 地点で日最高気温の高い方から 12 月としての 1 位の値を更新した。

月平均気温は高く、かなり高い所もあった。月降水量は多く、ほとんどの地点でかなり多い。月間日照時間は概ね少ないまたは平年並。月降雪量[積雪差合計]は少ないまたは平年並。

1月 ・「寡照」、「大雪」

冬型の気圧配置や低気圧等により雪の日が多く、大雪の所があった。4 地点で月最深積雪の大きい方から 1 月として 1 位の値を更新し、そのうち鷹巣と鹿角で観測史上 1 位の値を更新した。また、2 地点で降雪の深さ月合計[積雪差合計]の 1 月として 1 位の値を更新し、そのうち角館で観測史上 1 位の値を更新した。

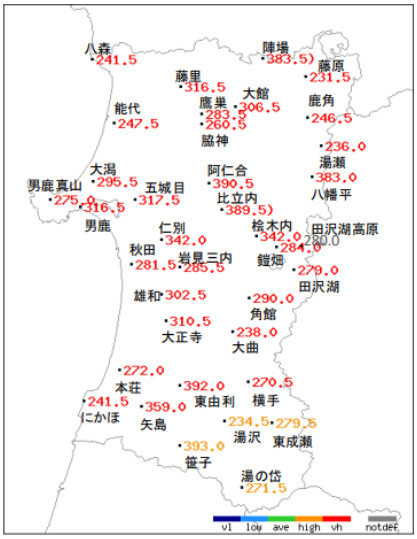
月平均気温は低いまたは平年並。月降水量は概ね多く、かなり多い所があった。月間日照時間は概ね少なく、かなり少ない所があった。月降雪量[積雪差合計]は多いが、南部では少ない所もあった。

2月 ・「顕著な高温」、「少雪」

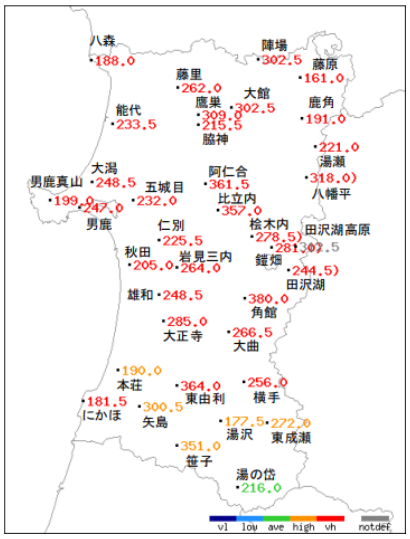
天気は周期的に変化した。期間を通して暖かい空気が入り込みやすく、7 地点で月平均気温が高い方から 2 月として 1 位の値を更新した。

月平均気温は高く、全ての地点でかなり高い。月降水量は少ないまたは平年並で、かなり少ない所もあった。月間日照時間は多いまたは平年並だが、内陸では少ない所もあった。月降雪量[積雪差合計]は少なく、全ての地点でかなり少ない。

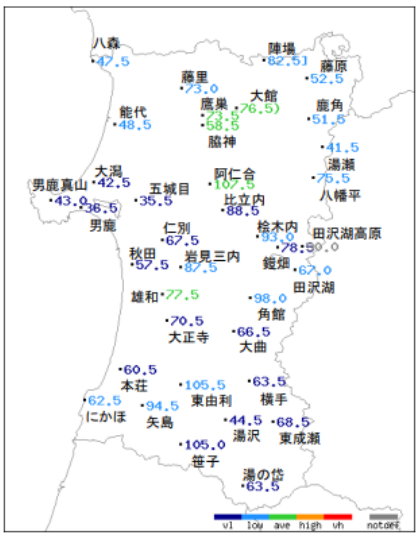
月別のアメダス降水量分布図（単位：mm）



2025 年 12 月



2026 年 1 月



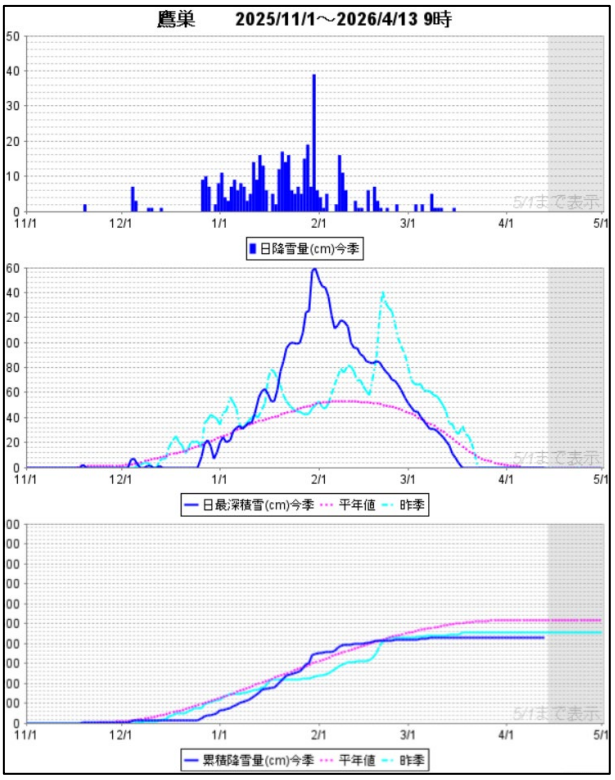
2026 年 2 月

vl	low	ave	high	vh	notdef
かなり低い かなり少ない	低い 少ない	平年並	高い 多い	かなり高い かなり多い	階級区分なし

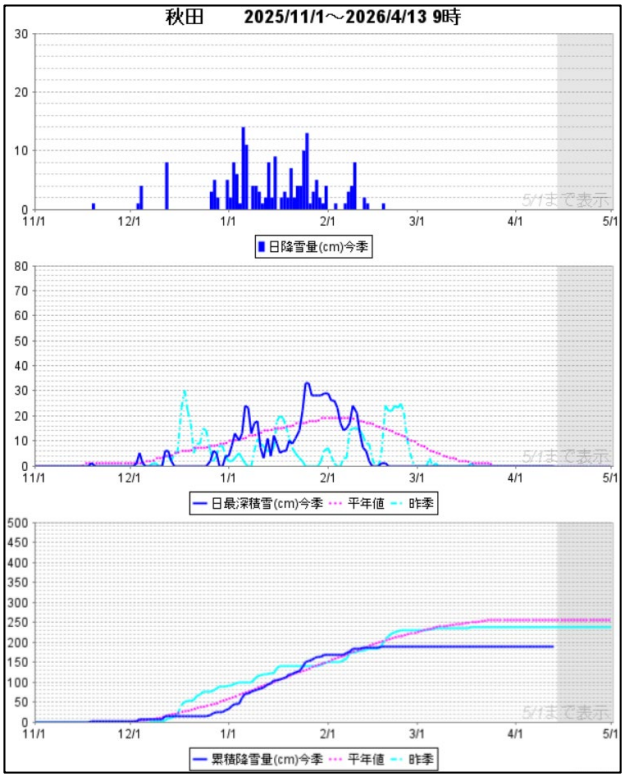
値	正常値
--	現象なし
値)	準正常値
値]	資料不足値
X	資料なし
//	平年値なし

最新の月のまとめは秋田地方気象台 HP:https://www.data.jma.go.jp/akita/data/tenkou/tenkou.html

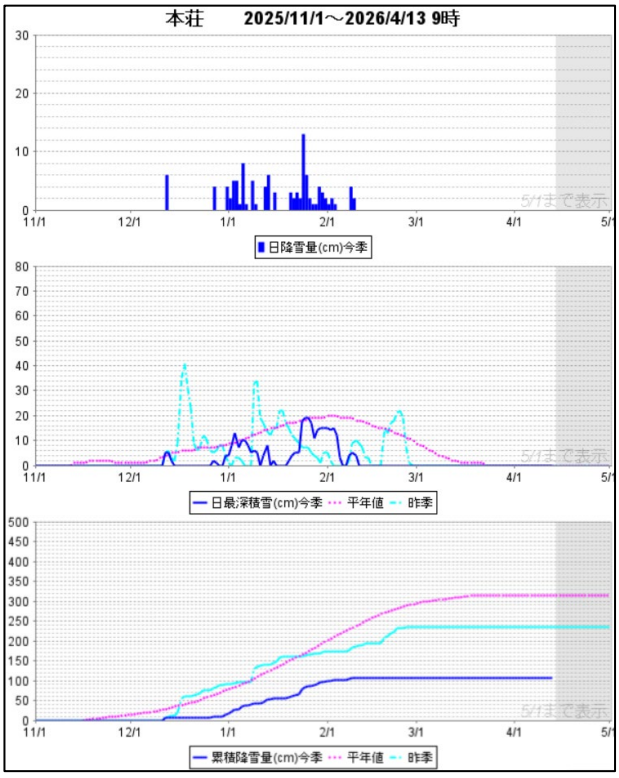
2. 雪の状況（2025 年 11 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）



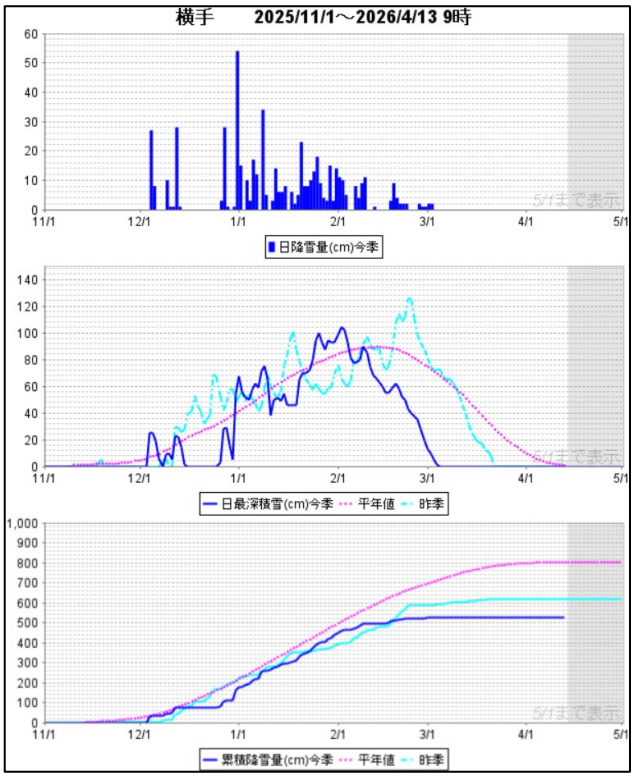
鷹巣（地域気象観測所）



秋田（地方気象台）



本荘（地域気象観測所）



横手（地域気象観測所）

【2025 年（令和 7 年）の東北北部の梅雨入り及び梅雨明け】

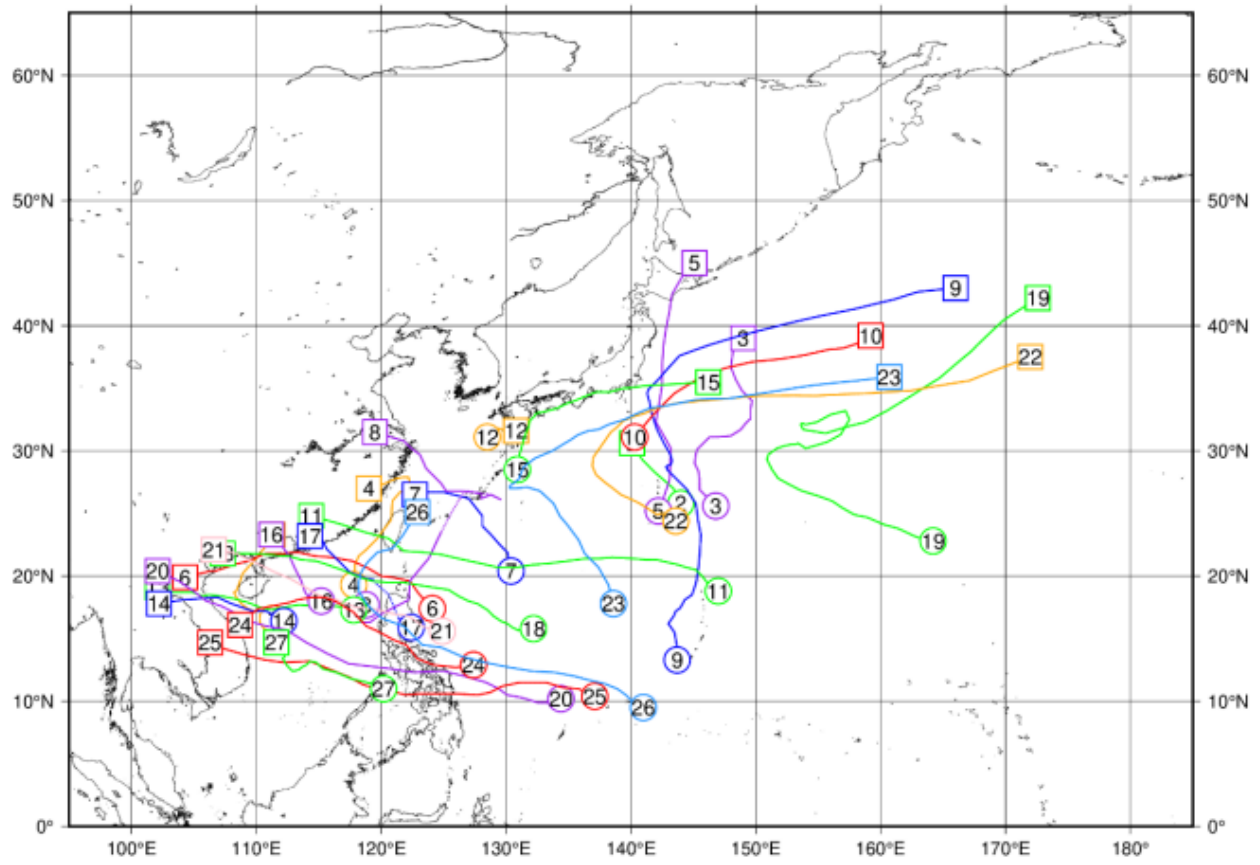
・梅雨入り：6月 23 日ごろ （平年は 6 月 15 日ごろ）
・梅雨明け：7月 18 日ごろ （平年は 7 月 28 日ごろ）
・梅雨の時期の降水量の平年比 49%※1

※1 「梅雨の時期の降水量の平年比（地域平均値）」は気象台・特別地域気象観測所での観測値を用い、概ね梅雨の期間に相当する 6～7 月の2か月間降水量の平年比(%)を平均したもの。

【2025 年（令和 7 年）の台風の発生状況】

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
台風の発生数	2025年						2	7	5	6	4	3		27
	2024年					2		2	6	8	3	4	1	26
	平年値	0.3	0.3	0.3	0.6	1	1.7	3.7	5.7	5	3.4	2.2	1	25.1
東北地方への接近数※2	2025年							2						2
	2024年								1	1				2
	平年値					0	0.2	0.3	0.8	0.9	0.5			2.7

※2 台風の中心が東北地方のいずれかの気象官署等から 300km 以内に入った場合を「東北地方に接近した台風」としています。また、接近は 2 か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しません。



2025 年（令和 7 年）の台風の経路図
経路の両端の〇と□は台風の発生位置と消滅位置、数字は台風番号を示す

3. 東北地方の3か月予報（6月～8月） 2026 年5月 19 日発表

＜予想される3か月予報＞

特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北地方　3か月予報（06月～08月）		
2026年05月19日14時00分 仙台管区気象台 発表		
06月～08月	気温	平均気温は、高い確率６０％です。
06月	天候	期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率５０％です。
07月	天候	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率５０％です。
08月	天候	東北日本海側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
	気温	気温は、高い確率５０％です。

気温、降水量の各階級の確率（%）					
気温	東北地方	06月～08月	10	30	60
		06月	20	30	50
		07月	20	30	50
		08月	20	30	50
降水量	東北地方	06月～08月	30	40	30
		06月	30	30	40
		07月	30	40	30
		08月	30	40	30

低い(少ない)　平年並　高い(多い)

＜次回発表予定＞

1か月予報：毎週木曜日　14 時 30 分

3か月予報：6月 23 日（火）14 時 00 分

直近の月の予報については、1か月予報をご利用ください。

最新の季節予報は気象庁 HP：

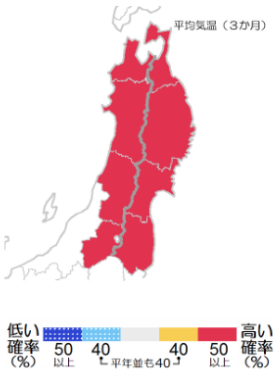
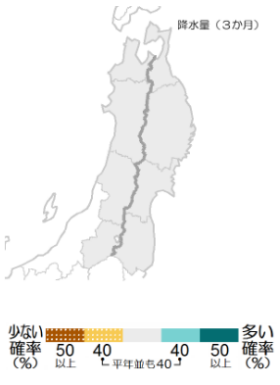
https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=050000&term=1month

向こう３か月の天候の見通し
東北地方 （6月～8月）

予報のポイント

- 向こう３か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高いでしょう。

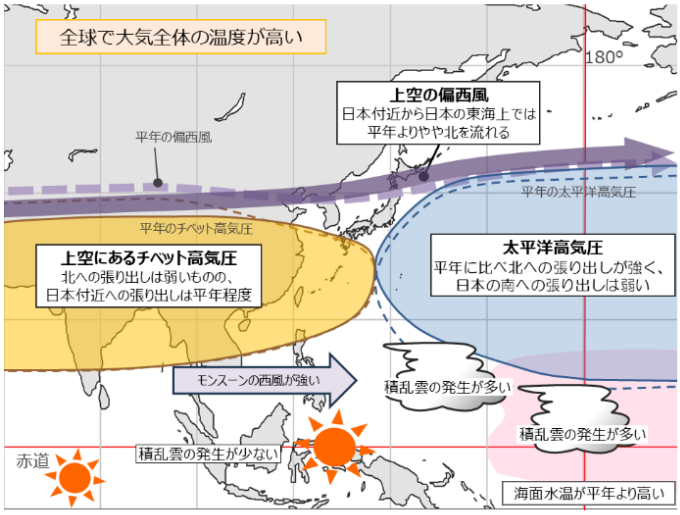
向こう３か月の平均気温・降水量

		平均気温（向こう３か月）	降水量（向こう３か月）
東北	日本海側	低10 並30 高**60**% **高い**見込み	少30 並**40** 多30% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側	低10 並30 高**60**% **高い**見込み	少30 並**40** 多30% **ほぼ平年並**の見込み
数値は予想される出現確率（%）です			

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。
「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料（https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/tohoku3.html）をご覧ください。
文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- エルニーニョ現象が発生する可能性が高く、海面水温は太平洋赤道域の東部から中部で高く、北太平洋熱帯域の中部でも高いでしょう。また、モンスーンの西風が強いでしょう。このため、積乱雲の発生はフィリピンの東から太平洋中部で多いでしょう。
- 一方、インドネシア付近からインド洋にかけては積乱雲の発生が少ないでしょう。
- これらの影響により、上空の偏西風はユーラシア大陸では平年より南を流れるものの、日本付近から日本の東海上では平年よりやや北を流れる見込みです。チベット高気圧は北への張り出しは弱いものの、日本付近への張り出しは平年程度でしょう。また、太平洋高気圧の北への張り出しは強いでしょう。
- これらのことから、日本付近は暖かい空気に覆われやすいでしょう。



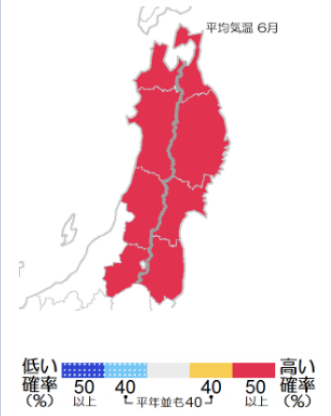
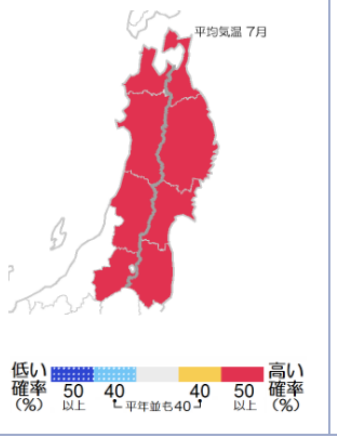
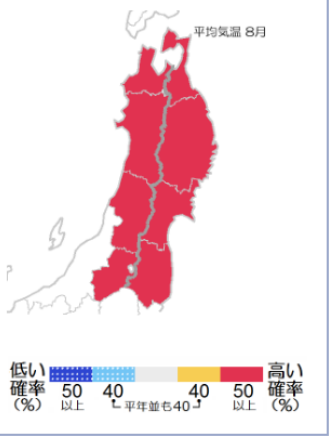
数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴

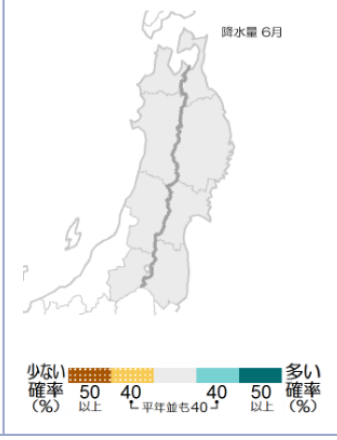
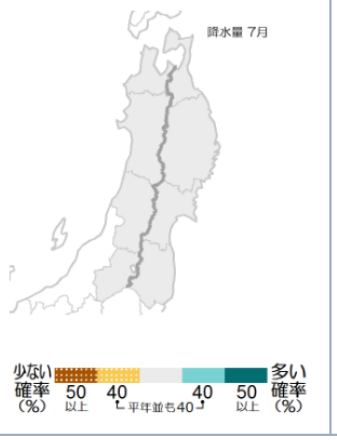
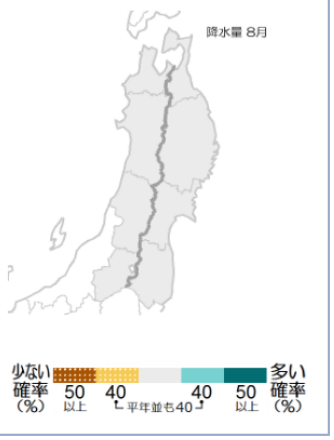
３か月予報は、主に熱帯域のゆっくりとした海洋変動の大気への影響に基づいています。
中高緯度の大気独自の変動（寒帯前線ジェット気流の蛇行や北極振動等）は予測の不確実性が大きいため、予報を検討する際にはこの点も考慮しています。

月別の天候

6月	• 期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
7月	• 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
8月	• 東北日本海側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

月別の平均気温・降水量

		平均気温 6月	平均気温 7月	平均気温 8月
東北	日本海側	低20 並30 高**50**% **高い**見込み	低20 並30 高**50**% **高い**見込み	低20 並30 高**50**% **高い**見込み
	太平洋側	低20 並30 高**50**% **高い**見込み	低20 並30 高**50**% **高い**見込み	低20 並30 高**50**% **高い**見込み
数値は予想される出現確率（%）です				

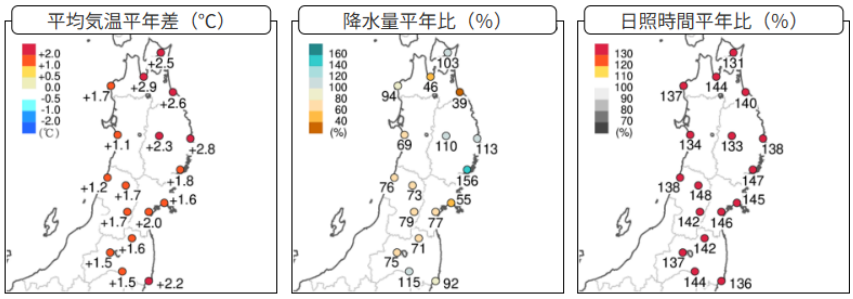
		降水量 6月	降水量 7月	降水量 8月
東北	日本海側	少30 並30 多**40**% **ほぼ平年並**の見込み	少30 並**40** 多30% **ほぼ平年並**の見込み	少30 並**40** 多30% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側	少30 並30 多**40**% **ほぼ平年並**の見込み	少30 並**40** 多30% **ほぼ平年並**の見込み	少30 並**40** 多30% **ほぼ平年並**の見込み
数値は予想される出現確率（%）です				

補足事項

最新の１か月予報もあわせてご利用ください。
暖候期予報として発表していたこの夏（６～８月）の予報については、今回の３か月予報等最新の予報をご利用ください。

5月（17日まで）の天候経過

- 期間の前半は前線を伴った低気圧のほか、上空の寒気の影響を受けて大気の状態が不安定となった日もありました。一方、期間の後半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため、この期間の降水量は平年を下回り、日照時間は平年を大きく上回りました。
- 暖かい空気に覆われやすかったことに加え、期間の後半は高気圧に覆われて晴れた日が多く、強い日射の影響も加わり気温が上がりやすかったため、気温は平年を大きく上回りました。



（実況）5/1～5/17	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
東北地方	+1.9℃	85%	140%
東北日本海側	+1.7℃	73%	140%
東北太平洋側	+2.1℃	93%	140%
東北北部	+2.2℃	91%	138%
東北南部	+1.7℃	79%	142%

これらの図において、値に「]」が付く場合は元となるデータの一部に欠測等が含まれていることを示しています。
また、「x」となる場合は欠測等により、「//」となる場合は平年値がない等により、値が求められないことを示しています。

参考

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上	高い（多い）見込み
（20：40：40）	平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
（40：30：30）　（30：40：30）　（30：30：40）	ほぼ平年並の見込み
（40：40：20）	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み